

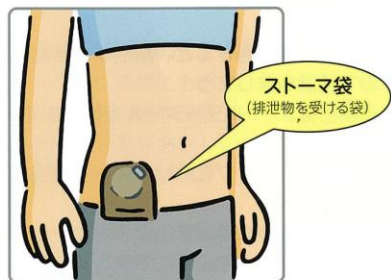
オストメイトの公衆浴場での入浴についてご理解ください!

様々な病気や事故などにより、腹部に排泄のための「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」を造設した方を「オストメイト」といいます。

オストメイトは、ストーマにストーマ袋(排泄物を承け止めるための袋)などのストーマ装具を装着することによって、積極的に社会参加することができます。

衛生的に管理されたストーマ装具を適切に装着していれば、排便等が漏れることなく、お風呂も毎日入ることができ、衛生上問題はありません。

【ストーマ装具について】



【オストメイトマーク】



オストメイトのための設備(オストメイト対応トイレ)などがあることを表します。

オストメイトは、外見では分りづらい内部障害であるため、社会的な理解が十分に進んでいない部分もあります。その為、様々な場面において生活のしづらさを感じており、常に排泄に関わる面で緊張と不安の中に置かれています。周囲のざり気ない気配りや温かいまなざしがあれば、その緊張と不安も解消されます。

私たちひとりひとりが障害についての正しい理解を深め、障害のある人ない人も分けへだてられることなく、安心して暮せる『ともに生きる社会かながわ』の実現に向けて、心をバリアフリーにしていくことが大切です。

神奈川県保健福祉局福祉部障害福祉課
 電話: 045-210-4709 FAX: 045-201-2051
 協力/(公社)日本オストミー協会神奈川支部
 電話: 0466-45-4216 FAX: 0466-61-0070

オストメイトについて詳しくはコチラから



<http://www.joa-kanagawa.org>

オストメイトが公衆浴場を利用するための手引き

- 公衆浴場では、必ずストーマ装具を付けて入浴します。
- 入浴の時間帯は、食前か食後しばらく経った排泄の少ない時間帯を選びます。
- 個室や家族風呂を利用するのも一つの方法としてよいでしょう。



◆浴室に行く前に、トイレで行う準備

- ・トイレで、ストーマ装具の中に蓄積された排泄物を処理し、空にしておきます。
- ・装具の処置については、以下の方法があります。
 - 入浴用キャップ(写真①)やミニストーマ袋(写真②、③)に取り替える方法。
 - ドレーナブルストーマ袋(下部開放型のストーマ袋)を用いる方法。その際、三つ折りにしてテープ等でしっかり固定します。目立たないようにするため、ストーマ袋を小さく折りたたみ過ぎると、排泄があった時に排泄物が漏れ出したり、装具が外れたりするので注意しましょう!
 - 脱臭フィルター付きのストーマ袋を装着している場合は、フィルターシールを貼ります。(写真④)
 - 面板が全面皮膚保護剤の場合は、面板の外周にサージカルテープを貼り、ストーマ袋を装着します。(写真⑤)
 - 装具の上から貼る保護シートは、肌色であり目立たないため、着用するのもよいでしょう。(写真⑥) 装具についての水分の拭取り用としてタオルを1枚余分に準備しておきましょう。また、万が一のトラブルに備え、装具セットを浴場へ持参しましょう。

写真(参考例)

※装具の形態は、メーカーによって多少異なります。

①入浴用キャップ



②消化管用ミニストーマ袋



③尿路系ミニストーマ袋



④脱臭フィルター付の場合



フィルターシールを貼り、三つ折りテープでしっかりと固定します。

⑤全面皮膚保護剤の場合



面板の外側にテープを貼ります。その後ストーマ袋を装着します。

⑥装具の上から保護シートを貼る場合



装具の上を保護シートで覆います。

◆入浴前の脱衣所での準備

- ・浴場内のトイレの場所を確認しておきます。
- ・公衆浴場では、必ずストーマ装具を付けて入浴します。
- ・脱衣所、装具の着脱、交換は行わないでください。
- ・脱衣所では、装具があまり目立たないように脱ぎ着する方が、気持ちが楽です。
(例えば、腰にバスタオルを巻く、浴衣を肩からかけて脱ぎ着をするなど)

◆浴室について

- ・洗い場で、ストーマ袋の脱着や、ストーマ袋から排泄物を出したり、ストーマ装具の洗浄をしてはいけません!!
- ・浴室内で、他の利用者の目つきにかかるようでしたら、以下の方法があります。
 - 洗い場では、ストーマが左にある人は左端に、ストーマが右にある人は右端に座ると人目に付きにくいようです。
 - 移動するときは、装具の部分をタオルで隠しておきます。
洗い桶を持つとタオルも一緒に持ち運べるので、便利です。
 - 浴槽内では、人の出入りが少ない場所に入り、装具を手で軽く押さえておきます。
(タオルを浴槽につけてはいけません!)

◆入浴後の脱衣所での処理

- ・ストーマ装具についている水分は、乾いたタオルで拭き取ります。
- ・入浴用の装具や保護シートを使用した場合は、トイレで通常の装具に取り替えます。
- ・装具の密着がおかしいなど異常を感じた時は、装具セットを持ってトイレで処理します。
(タオルも忘れずに)

●●●● オストメイトに関する2つのマーク ●●●●



【ハート・プラス マーク】
オストメイトを含む身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能)に障害のある人を表しています。



【オストメイト マーク】
オストメイトのための設備(オストメイト対応トイレなど)があることを表しています。

<問い合わせ先>

(公社)日本オストミー協会 神奈川支部

電話: 0466-45-4216 FAX: 0466-61-0070

- 日本オストミー協会神奈川支部では、神奈川県からの委託を受け「オストメイト社会適応訓練事業」として、各所の研修会・相談会等を実施しています。
- 神奈川県障害福祉課ホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531053/>

オストメイトについて詳しくはコチラから



<http://www.joa-kanagawa.org>

入浴施設におけるオストメイトへの対応に関するQ&A

Q1: オストメイトとは、どんな人のことですか?

病気などを治療するための手術において、腹部に排泄のためのストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造設した人のことを言います。オストメイトは、身体障害者福祉法による障害等級に該当する場合、身体障害者手帳を取得できます。神奈川県内には、「膀胱・直腸機能障害」として、身体障害者手帳取得者は、約12,000人(平成27年3月末)います。オストメイトは、排泄物をためるストーマ袋(「パウチ」とも呼ばれる専用の袋)をストーマに装着しています。

Q2: オストメイトが装着するストーマ袋は、どういうものですか?

ストーマ(人工肛門・人工膀胱)から便や尿を受けとめるための袋で、防臭性がある積層プラスチックフィルム製の使い捨ての製品です。様々な形状のものが市販されています。

Q3: ストーマ袋は、お湯の熱に耐えられますか?

十分に耐えられる材質・構造です。

Q4: ストーマ袋を着けたまま入浴や外出は大丈夫ですか?

適切に装着していれば、入浴、運動、仕事や外出も大丈夫です。

Q5: 着替える時、体を洗う時、湯船につかる時、ストーマからストーマ袋がはずれてしまう心配はありませんか?

日常生活において、ストーマ袋の交換日数を守り、適切に取り扱っていれば、はずれる事はありません。各自が工夫して補強するように指導を受けています。

Q6: ストーマ袋から、臭い等はもれませんか?

ストーマ袋は、肌に粘着剤で貼り付けますので密閉状態になり、臭いや排泄物等が漏れないようになっています。また、臭いを消すためにストーマ袋内は防臭加工がされています。

Q7: 入浴時に排便などがあつた場合は、どうしますか?

入浴時に排便などがあつてもストーマ袋に溜まるので問題無く、溜まった排便物等は入浴後、トイレに流します。

Q8: ストーマ袋は、どこで交換しますか?

必ずトイレで行います。浴室や脱衣場では行いません。

Q9: 受け入れる施設側に、注意する点がありますか?

優しく見守っててください。

Q10: 他の利用者からの苦情に対しては、どのようにすれば良いですか?

その苦情がオストメイトによる故意や過失によるものかどうかを確認してください。根拠のない苦情であれば、正しい理解を求めてください。

Q11: 施設にオストメイト専用のトイレがありませんが、どうしたら良いですか?

オストメイト対応のトイレは、必須の設備ではありません。専用トイレがあればオストメイトの排泄時等に大変便利な設備ですが、洋式トイレでも十分です。

Q12: オストメイトの入浴を禁止する根拠はありますか?

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会でも、オストメイトの公衆浴場入浴について報告されており、入浴を禁止する根拠はありません。

